

令和6年度 第4回 豊田市猿投台地域会議 会議録

開催日時	令和6年8月29日(木)	開会	閉会
		午後7時	午後7時55分
会場	猿投台交流館1階 多目的ホール		
出席者	地域会議委員：17人		
	会長：伊藤 昌明 副会長：河合 好金		
	委員：井口 俊一 加藤 明彦 北川 勝男 古賀 親 呉山 永石 三田 美恵子 清水 有樹 末廣 洋兒 鈴木 光司 塚本 政幸 中根 秀樹 原田 千枝美 春木 俊弘 藤中 佐織 本多 謙二		
欠席者	2名(伊藤 正史 外輪 ルリ子)		
傍聴者	なし		
事務局	猿投支所：広瀬支所長、梅村副支所長、宮石担当長、古橋主査		
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 豊田市民の誓い(唱和) 2 会長あいさつ 3 令和7年度以降の地域課題解決事業について 4 令和6年度の地域課題解決事業について 歩行者にやさしい安全な道路空間創出事業 5 わくわく事業現場確認について 6 情報共有・事務連絡 		

■議事(要約)

3 令和7年度以降の地域課題解決事業について

・事務局が資料に基づき説明

委員：前回の集計結果では「DX×防災学習」ということになるだろうと思うが、防災事業は学習で留めるところではなく、地に足のついた議論のもと、正面から課題に向き合うべきだと思う。

委員：防災事業においてパソコン、スマホの貸し出しはどのくらいの期間を想定しているのか。

事務局：長期間の貸し出しは想定していない。講座開催時に持っていない方に貸し出すなど、短期間の貸し出しを想定している。

委員：自治区では防災学習のため、防災センターを訪問する予定である。

委員：事務局から、事業を決定することについて、もう一度説明をお願いしたい。

事務局：委員の皆様には、3か月間にわたり多世代交流を目指した事業の方向性について協議を行っていただいている。防犯パトロール、DXどちらも多世代交流の手段であるが、多世代交流として行うべきだと思う事業を選んでいただきたい。

事務局：そもそもの提言においては、特に、子どもと高齢者の交流に視点を置いた多世代交流を課題としている。その点も含めて考えていただきたい。

・最後に多数決を行い「防犯パトロール×共助交通」5票、「DX×防災学習」12票と

なり、「DX×防災学習」に決定となった。

4 令和6年度の地域課題解決事業について

- ・事務局が資料に基づき説明

委員：意識啓発についての説明は理解した。次回の事業計画書には、イメージパースの実現に向けたロードマップを盛り込んでいく必要があると思うが、事務局はどのように考えているのか。

事務局：事業計画書のなかでロードマップを盛り込むことは難しいと思うが、当然ながら、イメージパースの実現にむけて庁内関係課とも調整しながら進めていくことが支所の役割であると認識している。

委員：歩道橋付近のこども園前の空間に車が2台描かれているが、これはどのような活用イメージとして描かれているのか。

委員：こども園の送迎のための停留スペースであろう。

事務局：あくまでイメージパースであることをご留意いただきたい。具体的な整備計画は、整備が可能な条件が整ってから考えることになる。

- ・次回、事業計画書案について協議することとなった。

5 わくわく事業現場確認について

- ・枝下町環境整備グループ
 - ・枝下町遺跡調査隊
 - ・平戸橋二区水辺愛護会 能力向上
- 上記3団体の活動状況を事務局より報告

6 情報共有・事務連絡

(次回の予定)

日時：令和6年9月19日（木）午後7時から

場所：猿投台交流館1階 多目的ホール